

受験を支える、読書！

～進学資料「求学志成」 合格体験記より抜粋～

天草高校図書館

小論文は、はじめは何を書いたらよいのかわからなくて、原稿用紙に文字を埋めるので精一杯でした。小論文は、知識がないとなかなか埋まりません。そこで私は、図書館で医療記事がまとめてあるスクラップを借りて読んで、要約や感想を書いたノートをつくりました。面接などでも役に立ったので、よければ参考にしてください。

(H29 熊本労災看護専門学校 合格)

英語は好きな時間に何時間でも触れていました。家に帰って少し暇だなあと感じたとき英単語帳を眺めたり、英語で書かれている本を図書館で借りて読んだりしていました。

(H29 北九州市立大学 合格)

小論文ですが、これはどれほどの知識を蓄えられるかがカギです。『朝日キーワード』などの時事ネタをまとめた本を常に携帯しておきましょう。(実際に私も担当の先生からずっと言われ続けていきました。) また、受験の前にその学部系統で仕事をしている人を探ねて情報収集をするのも手です。私も市役所観光課、観光協会、アマビズなどへ足を運び得た知識も受験本番で多いに役立ちました。

(H29 高知大学 合格)

私はよく本を読んでいました。いろいろなジャンルの本を読んでいて、ある日出会った本で自分の夢が見つかりました。本をたくさん読んで、世の中について知ることや、自分の夢の引き出しを増やすことはかなり大切だと思います。新聞や起業の雑誌を読むことも、小論文を書く上で役立つので活用すべきだと思います。

(H28 宮崎大学 合格)

前期試験は小論文のみだったため、添削指導と並行して行なったのは、図書館にもある「新聞ダイジェスト」や、新書・ブックレットの内容をノートにまとめることです。ブックレットとは新書の薄い版のようなもので、こちらも借りられます。新聞記事も本もただ読むだけより、自分の手でまとめたほうが武器になります。余談ですが、私は、一番よく読みこんでまとめたブックレットの著者の文章が本番試験で出題されました。

(H27 奈良教育大学 合格)

気分転換に『ドラゴン桜』という漫画を読むことをお勧めします。この漫画は図書館にもあるので是非読んでください。これを読んだ後では、「自分も東大にいけるのではないかな…」という気持ちになります。

(H27 鹿児島大学 合格)

小説はもちろんのこと、高校では新書を読むように心掛けていました。1・2年生の時にたくさんの本を読むことをお勧めします。本は自分の知識を向上させ表現力や語彙力も身につけることができます。天草高校図書館を利用し、自分自身の知性を伸ばしていきましょう。

(H26 国家公務員 合格)

高校入学以前からもよく本を読んでいたのですが、天高に入ってから読書は趣味としてだけでなく、勉強のためにもするようになりました。自分が今まで読んだことのないようなジャンルの本をたくさん読んだり、普段なら読み流してしまうような語句をひとつひとつ確認したりといったことを習慣づけ、できるだけ毎日本を読み続けました。この習慣は、3年生になって受験勉強に入ったとき、何度も私を助けてくれました。普段あまり本を読まないという人は、自分の好きな映画やドラマの小説版、ライトノベル、ケータイ小説などは読みやすいと思うので、まずはそこから読んでみてもいいと思います、そして出来れば読書を習慣づけてみてください。天高には朝の読書タイムがあるので、有効利用しましょう。

(H26 大阪大学 合格)

夏休みから自分の行きたい学部、学科関連の本を図書館から借りて読んでいました。理系で小論文や面接がある人たちは絶対に新書や科学雑誌を読むべきだと思います。

(H25 名古屋大学 合格)

私はつい本を読んでしまっただけで時間が過ぎることが多かったのですが、まずは本棚を紙で塞ぎました。英語の苦手意識が払拭できていなかったのですが、朝読書では興味のある分野の英語の本を読むようにしました。

(H25 九州大学 合格)